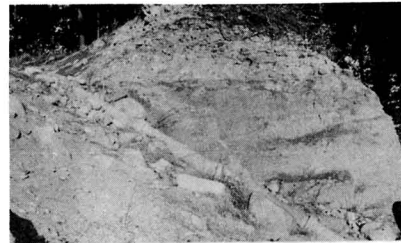
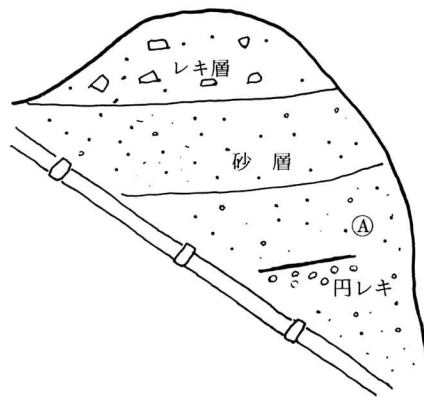


学校より西に 100 m の地点

- (2) 地層の全体が見通せる所に立って全体を観察する。



- ① 地層のでている崖全体をスケッチする。
- ② 地層の重なり関係に注意して、地層を書き入れる。
- ③ 地層の特徴として、地層の色や、地層に含まれるレキの並び方、地層の厚さなどを書き入れる。
- ④ この崖は、上のレキ層と下の砂層が重なってできていることを観察する。



- (3) 地層に近づいて地層の特徴を調べる。

この崖は、大きく分けると2つの地層からできています。

Ⓐ層は、中粒の砂層で淡黄色をしています。地層の中程を注意して観察すると、5 mm 大の円レキが水平に近い方向に並んでいます。ちょうど海岸の波打ちぎわに見られるような円レキです。この事から、この砂層は、海岸の近くで、つもってできた地層と考えてよいでしょう。

Ⓑ層は、50 cm ~ 10 cm 大の、川原に見られるようなレキからできているレキ層で、レキの大部分は花崗岩です。この地層は、Ⓐ層より新しく氷河期の頃に つもった段丘たい積物です。

2. 川原のようすと流水のはたらき

- (1) 調べる場所

学校の南の橋より西に 300 m 進んだ河原

- (2) 土手から川原や水の流れの様子を観察し、全体のおおよそのスケッチをする。